

尊い人命救いたい 気管挿管資格を取得

当別消防署 小出 誠さん



◆気管挿管資格について

教えてください

気管挿管とは、心肺停止状態の方で、気道確保が困難な場合に、口からチューブを気管に入れて肺に酸素を送る救命行為です。この処置は、医師にしかできなかったのですが、平成16年に法律が改正し、私たち、救命救急士も資格を取得して、現場や救急車の中で処置することができます。

緊急時の難しい処置ですが、尊い人命の救助につながりたいですね。

現在、全道に60人、石狩管内では19人、当別消防署では、8月25日に北海道から資格認定を受けた私が第1号となりますが、署内にいる救命救急士もこれから資格を取得していきます。

◆資格取得までには

「苦労もあったのでは」

江別市の消防学校で基礎知識をしっかりと学んだ後、札幌の病院で2カ月間の実習を重ねました。

私は、手稲溪仁会病院で、患者さんの同意をもらって挿管実習をさせてもらいました。実習時は、すごい緊張感の中で真剣に学ぶことができ、協力してくださった患者さんには本当に感謝しています。

当別消防署で、気管挿管の実習ができるのは、「手稲溪仁会病院」「札幌東徳洲会病院」「N-TT東日本札幌病院」ですが、患者さんの協力が何より大切です。

◆町内の救急時の状況はどうですか

町内では、心肺停止状態での119番通報が、年間約20件あります。応急手当をされていたケースが昨年で5件ありました。気管挿管が必要なケースは1件ほどです。

通報があったときに指令室では、患者さんの状態を聞き、救急車が到着するまでの適正な応急手当方法を指示していますが、救命講習を受けている方であれば、スムーズに対処することが可能です。

病院に到着前に気管挿管処置できれば、助かる確立も上がりますが、町民の方の緊急時の応急手当が何より大切と思っています。消防署では、「救命講習」を実施していますので、町民の皆さんに是非一度参加していただきたいですね。

当別の風景

「龍神の滝」

青山奥にて撮影

写真提供 菊池 正造さん(錦町)



お詫び：10月号に掲載した笠井嗣夫さんの「当別の風景」の写真が反転していました。ここにお詫びいたします。